



森の幼稚園へようこそ 港区立白金台幼稚園 12月園だより

令和元年11月29日
園長 新井智子

〒108-0071
港区白金台
3-7-1
(3443) 5666



思いが形になること 願いを形にすること

園長 新井智子

11月15日、本園は、港区研究奨励園として研究発表会を実施しました。約180名の学校関係者を迎え、主題「主体的に環境に関わり豊かな遊びをつくる 森を街に変える子どもと先生のチャレンジ」のもと取り組んできた研究を発表することができました。この研究は、「森の幼稚園」として、伝統的に遊びが継承されていく中、教員が「遊びの形」だけ伝承していないかを見直し、その中に込めている幼児の育ちや教師の願い、教育的な意味などを改めて理解し、遊びの質を高め、子どもたち一人ひとりの成長を図ることを目指したものです。教員は、2年間の研究を通し幼児理解や指導を深く学びました。子どもたちの姿からも遊びの質が高まり、成長を感じることができます。

さて、19日には、「いちにちどうぶつむら」が実施されました。PTAの周年記念事業の一環で実施し、本年度は3回目となりました。年長組や年中組は、これまでの経験から、動物たちが来ることを前々から心待ちにしていました。当日は、動物との触れ合いに積極的で、餌やりもポニーの乗馬も心から楽しんでいました。昨年からの顔馴染みの動物もいて、「いちにちどうぶつむら」の活動が本園に定着してきていることを感じます。

「いちにちどうぶつむら」も導入時は、実施の意義や子どもたちの心の育ちを考え、動物愛護の気持ちの伝え方など、よく教員と話し合い保護者へも伝えるようにしました。今回もその気持ちや姿勢は変わりません。前述の森での遊びと同じように「移動動物園で動物に触れる」形だけではなく、心情面をどのように豊かにしていくか、動物との触れ合いで何を大事にしていくかなどをきちんと押さえ、心が育っていくようにしていきたいと考えます。

12月は年長組の「わくわく発表会」があります。子どもたちが意欲的に活動に取り組んでいます。この発表会は、年長組の3年間の生活や遊びで経験してきたことの集大成になります。話も、せりふも、役決めも、大道具や衣装も子どもたちが主体的に決めてつくっていきます。一人ひとりが同じ目的に向かって気持ちを合わせ、頑張っています。当日、その思いが形になって伸び伸びと披露され、皆様の心に伝わることを心より願います。

<http://shirokanedai-kg.minato-tky.ed.jp/>

いちにちどうぶつむら



<今月の指導のねらい>

3歳児

- 自分の思いを言葉や動きに表しながら、友達と同じ場で関わったり遊んだりすることを楽しむ。
- 学級の友達と簡単なストーリーに沿って動いたり楽器遊びをしたりし、自分なりに伸び伸びと表現することを楽しむ。
- 衣服の調節や使った物の片付けなど、生活に必要なことが分かり、自分でできるようになった喜びを感じる。

4歳児

- 自分の思いや考えを伝えたり、相手の言葉や動きを受け止めたりしながら、友達と関わって遊ぶ楽しさを感じる。
- 自分なりのイメージやめあてに向かって遊びに取り組み、繰り返し試したり工夫したりする。
- グループでの当番活動など、自分たちの生活に必要なことに自分から取り組んでみようとする。

5歳児

- 発表会に向けて考えを出し合ったり、互いのよさに気付いたりしながら活動を進め、やり遂げた達成感や一体感を味わう。
- 遊びや活動の中で自分なりのめあてをもち、挑戦したり課題に向かって繰り返し取り組んだりする。
- お楽しみ会や大掃除などを通して、年の暮れの雰囲気を感じ、新しい年を迎える準備をする。

